研究・調査報告書

分類番号		報告書番号	担当
C-169	A-169	21-412	佐賀県医療センター好生館　角南隆史 独立行政法人国立病院機久里浜医療センター　松下幸生

題名（原題／訳）

Alcohol Screening, Brief Intervention, and Referral to Treatment (SBIRT) for Girls and Women

女性のためのアルコール問題のスクリーニング、簡易介入、専門治療への紹介(SBIRT)

執筆者

Hammock K, Velasquez MM, Alwan H, von Sternberg K.

掲載誌

Alcohol Res. 2020;40(2):07. Published 2020 Aug 13. doi:10.35946/arcr.v40.2.07

キーワード	PMID
SBIRT、アルコール、簡易介入、若年女性、リスク、スクリーニングテスト、女性	34646716

要　旨

米国では、12 歳以上の女性がアルコール消費者の中で最も急速に増加しており、過去 10 年間で、12 ヶ月間のアルコール使用量は 16%増加し、12 ヶ月間のハイリスク飲酒（すなわち、1 日に 3 杯以上、および/または 1 週間に 7 杯以上）は 58%増加しています。アルコール使用とリスク飲酒の増加は、女性にとって特有な深刻な結果をもたらします。女性は男性よりもアルコール関連の問題やアルコール使用障害（AUD）への進行が早く、妊娠している場合、胎児をアルコールにさらす可能性があります。スクリーニング、簡易介入、専門治療への紹介（SBIRT）は、様々な保健・社会サービスの場で女性の危険なアルコール使用を特定し対処するために用いられる、エビデンスに基づく統合的な公衆衛生アプローチです。この論文では、12 歳以上の女性、妊娠可能な年齢の女性、高齢の女性における SBIRT の現状を紹介します。スクリーニング方法、簡易介入、およびすべての年齢の女性に特有の実施上の問題点が説明されています。このレビューを通じて、医療提供者は、医療現場に現れるあらゆる年齢の女性のリスク飲酒の予防と治療のためのベストな方策を決定することができます。